陳　情　文　書　表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第186号（５．２．９） 大型ごみの宅内からの持ち出し支援のモデル実施に関する陳情
陳情の要旨	有料支援の対象者においては、宅内からの持ち出し支援を無料にすること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市須磨区 新日本婦人の会須磨支部 支部長　関　　　和　枝
送付委員会	予算特別委員会

2023年　2月　9日

神戸市会議長　安井俊彦　様

新日本婦人の会
須磨支部　支部長　関　和枝　~~神戸市須磨区~~

「大型ごみの宅内からの持ち出し支援のモデル実施」に関する陳情

【陳情趣旨】

現在、神戸市が実施している民間の収集運搬業者による、大型ごみの宅内からの持ち出し支援モデルは、有料の支援であり、対象となる世帯は、①要介護認定者②要支援認定者③障がい者となっております。

大型ごみは、処理手数料だけで最低300円、最高では3,000円と設定されており、この処理手数料に加えて本支援では、600円の持ち出し手数料が必要となり、年金生活を送る高齢者には大きな負担となっております。

また、対象となる世帯が制限されているため、必要としている高齢者が利用できない状況です。

「国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター」が行った調査研究をもとに、ごみ出し支援制度の基本的な考え方と、具体的なノウハウを取りまとめた「高齢者ゴミ出し支援ガイドブック」には、高齢者の無理なゴミ出しリスクについて、「無理なごみ出しは、高齢者にとって不便や負担であるとともに、ごみ袋を持って階段を降りたり、雨や雪の日に傘とごみ袋で両手を塞がれた状態で集積所まで歩いたりすると、転倒の危険性も高まります。高齢になると筋力の低下により転倒しやすくなるだけでなく、骨粗しょう症で骨がもろくなるために簡単に骨折してしまうことも少なくありません。こうした怪我や骨折をきっかけとして、自立歩行ができなくなったり、寝たきりになってしまったりすることもあります。」と書かれております。

現在、高齢化に加えて、全世帯のうち、1/4 が高齢者のみの世帯、1/8 が高齢者の単身世帯といわれており、その割合は年々増加しています。

そして、要介護・要支援認定者も 689万人にのぼります。

高齢者のゴミ出し支援、特に大型ごみの支援は、必要不可欠な支援であり、要介護・要支援認定者増加の予防措置ともなるものです。

これらを踏まえ「大型ごみの宅内からの持ち出し支援のモデル実施」の内容につき、以下の陳情いたします。

【陳情項目】

一、~~困難な家庭に~~[有料支援の対象者に]おいては、宅内からの持ち出し支援を無料に[し]て下さい。

以上